

付録 1 VSCode で「ターミナル」を使う

本書では「ブラウザを開けば実行できる」HTML 文書を例に VSCode の使い方を説明してきましたが、プログラム開発では、「ターミナル」を開いてコマンド入力をするのが案外多くあります。たとえば、開発に必要なライブラリのインストール、ファイルやフォルダの自動作成などです。そのときは、VSCode からターミナルを開いて使うことができます。

ターミナルとは

●キーボードから字で命令を入力する画面

今でも、スーパーコンピュータやデータセンターなどでは、限られた場所に高性能の計算機が置かれていて、操作者は遠隔から、操作命令だけの機能を備えた簡単なコンピュータを使います。今はこうした操作専用機も他のことがいろいろできるパソコンだったりしますが、以前は本当に操作命令の入力と中央の計算機からの応答を表示するだけの機能しか持たず、「計算」はしない「端末(ターミナル)」でした。

今のパソコンでもこの名残で、「キーボードから字で自機の OS に命令を入力する画面」を「ターミナル」と呼びます。

●「コマンドプロンプト」とか「パワースhell」とか呼ぶのは

VSCode は Windows や Mac や Linux など複数の OS で動きます。OS によってターミナルの役割をするソフトウェアの名前が異なり、Windows のターミナルは古くは「コマンドプロンプト」と「パワースhell」です。「コマンドプロンプト」は「命令の入力を促すもの」のような意味です。「シェル」は、本当は面倒くさいシステムの操作命令を、少しでも人間にわかりやすくするためのソフトウェアで「殻」のように覆うイメージから来ています。

Windows7から Windows の標準ターミナルは「パワースhell」です。そこで、VSCode で「ターミナル」に関する操作は、標準では「パワースhell」を用いますが、コマンドプロンプトを選ぶこともできます。

VSCode 上で操作するターミナル

●ターミナルを表示させる

VSCode のワークベンチ上部のメニューには図 1 のように「ターミナル」という「ターミナルを開く」を選ぶと、パワースhellが現れます。本書で「デバッグコンソール」を表示させた場所と同じワークベンチの下側で、タブで切り替えます。

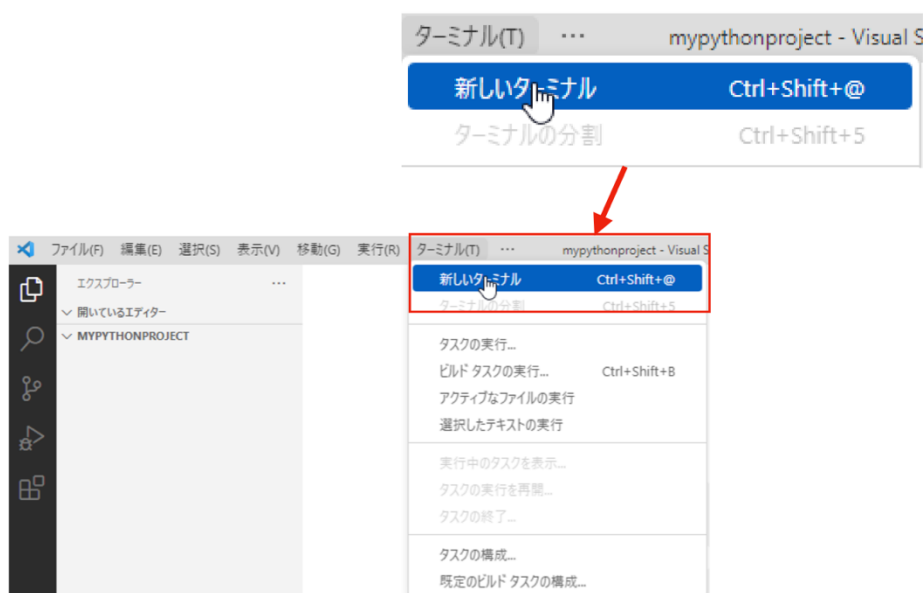


図 1 VSCode での標準的なターミナルの開き方

●VSCode で開いたフォルダから開いている

ターミナルは「どこから開いたか」「今、どこにいるか」が大切です。「どこ」とはフォルダで、「今いるフォルダ」からの相対位置で操作したいファイルを特定できるからです。図 1 の方法でターミナルを開くと、VSCode で開いたフォルダからターミナルを開き、そのフォルダから操作することになります。

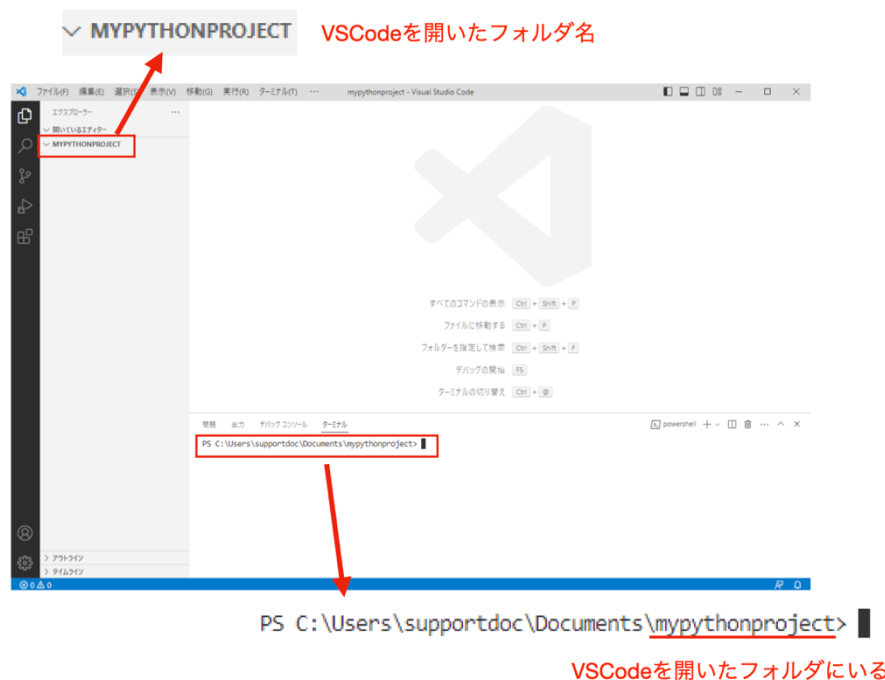


図 2 VSCode で開いたフォルダからターミナルも開いている

●内部のフォルダからもターミナルを開ける

VSCode の「エクスプローラ」上のフォルダを選択して、右クリックするとメニューの中に「ターミナルを開く」という項目があります。この操作では、選択したフォルダからターミナルを開けます。一度開いたターミナルは明示的に閉じるまで開いたままなので、他のフォルダからも開いて置いてターミナルを切り替えれば、ターミナル上のフォルダ移動コマンド「cd」を使って行ったり来たりする必要がありません。

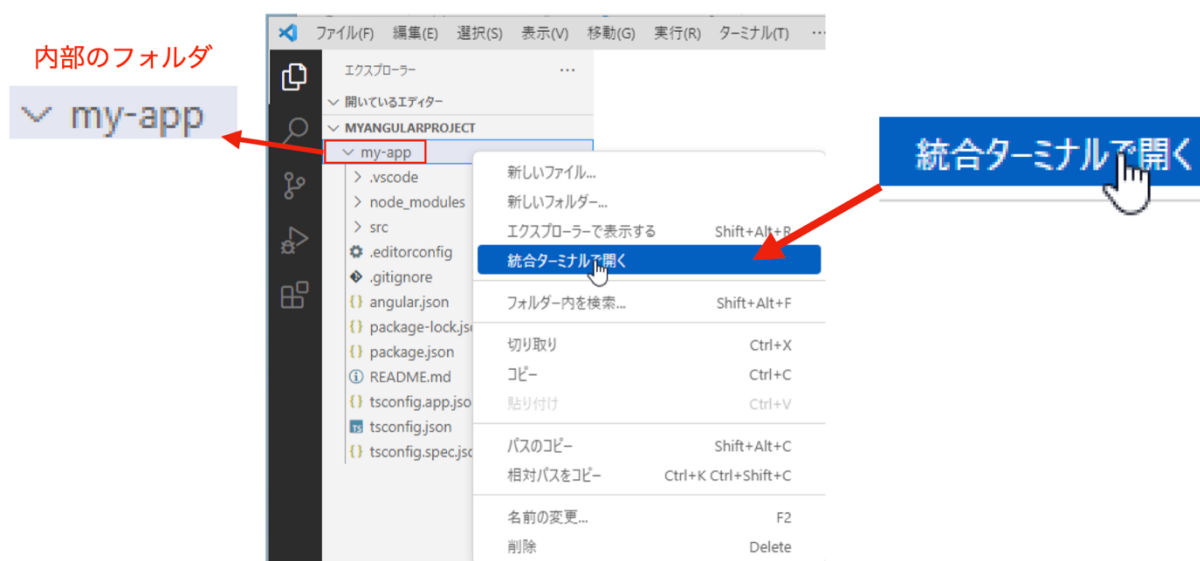


図 3 エクスプローラで選択したフォルダからもターミナルを開ける

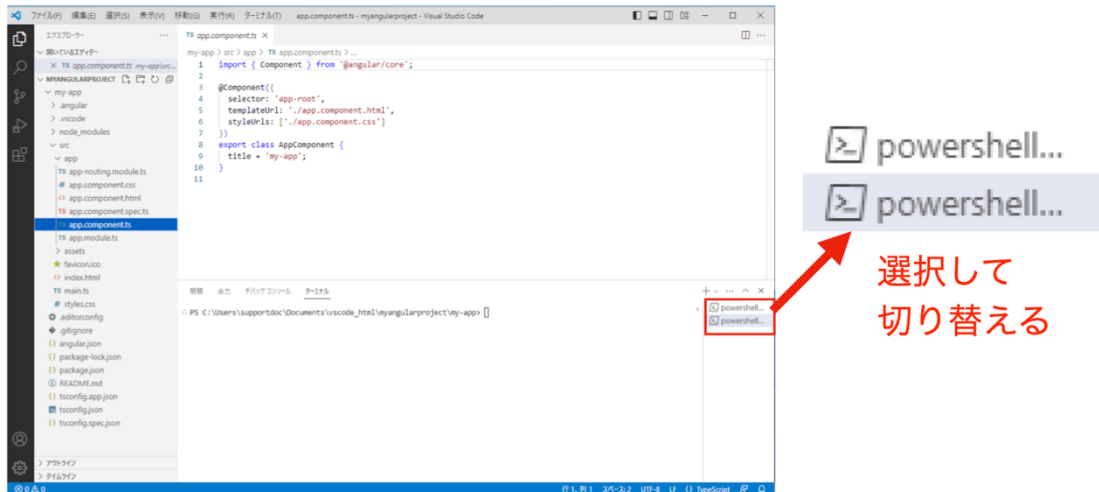


図4 複数のターミナルを切り替えて操作できる

●どうしてもコマンドプロンプトを使いたい場合

Windows のターミナルとしてコマンドプロンプトを使い慣れている人にとって、ちょっとした操作をしたいだけなのにパワースhellにガンガンエラーメッセージを吐かれて辟易することもあります。いずれはなくなるらしいコマンドプロンプトなので、パワースhellに慣れておくのが良いとは思いますが、ちょっとこの操作くらいコマンドプロンプト使ってもいいじゃないのというときは、図5のようにターミナルの「+」ボタンから、コマンドプロンプトのターミナルを新規に開けます。



図5 ちょっとコマンドプロンプト使わせてよと言う場合

●使わないターミナルを破棄する

使わないのに複数のターミナルを開いておくとメモリの無駄なので、破棄するには図6のようにゴミ箱ボタンで消します。

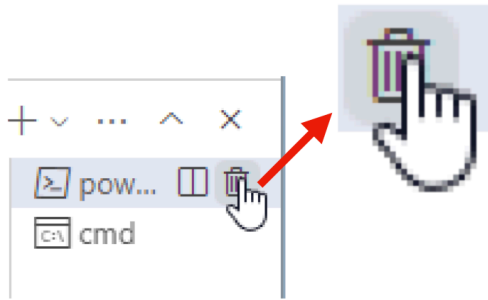


図 6 もう使わなくなったターミナルは破棄する

●ターミナル画面を大きくする

ターミナル画面を少し広げるには、他のウィンドウと同じように図 7 の要領で広げられますが、一時的に最大化したいときは図 8 の上向き三角のボタンを押します。元に戻すには、同じ場所で図 9 のように下向き三角に変わったボタンを押します。

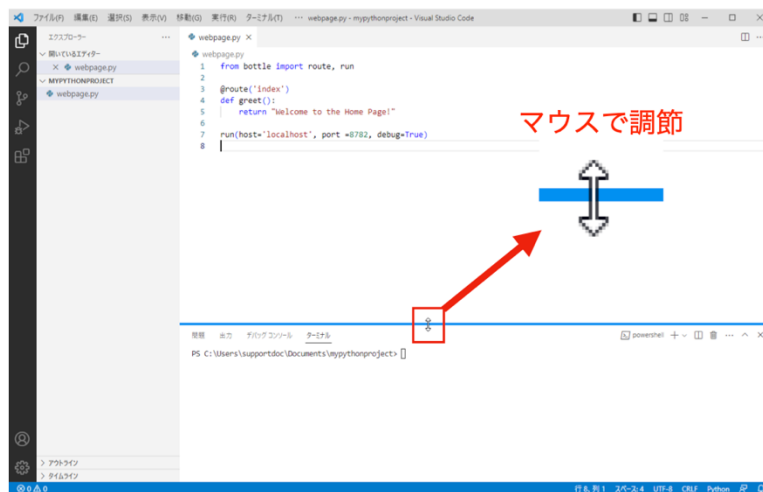


図 7 ターミナル画面の大きさを微調整



図 8 ターミナル画面を一時的に最大化



図 9 もとの大きさに戻す